

「自然遺産」編

みやこ町の「お宝」について

まずは、みやこ町の「お宝」について「知る」ことから、始めよう！

このマップでいう「お宝」って何のこと？

「自然遺産(樹木)」について知ることができるぞ！

樹木って自然と人の物語が詰まった「お宝」なんだね！

このマップでいう「お宝」って何のこと？

難しいことばで「文化財」といいます。昔の人が残してくれたもので、次の時代に伝えてゆくべきものとして地域やみんなに大切にされてきたものです。

みやこ町の概要

総面積：151.34km²
 位置：東経130度55分14秒 北緯33度41分57秒
 町の花：さくら
 町の水：もみじ
 町の鳥：ウグイス

【旅行者】みやこ町文化遺産活用実行委員会
 〒824-0192 福岡県京都市みやこ町豊津1118
 【お問合せ】みやこ町歴史民俗博物館
 〒824-0121 福岡県京都市みやこ町豊津1122-13
 TEL.0930-33-4666

交通のご案内

- JR日豊線行橋駅より徒歩5分
- 平政院線新豊津駅下車徒歩20分
- 九州自動車道「みやこ豊津」各ICから10分
- 国道10号線/バス乗降点より徒歩10分
- 国道201号線/バス乗降点より徒歩15分

自然遺産 知れ

自然豊かなみやこ町

みやこ町にはそんな樹木がたくさんあり、樹木一つ一つにその木ならではの特色やエピソードがあって、自然と人々が生きていくの象徴(かけがえのない遺産)として大切にされています。

樹木(名木・珍木・ゆかりの木)が語る自然と人の交流

町の植物の中でも、人々の暮らしとかがかりが深い「自然と人の交流」の樹木があります。樹木は生活全般に欠かせないだけでなく、「神木」として人々に拜まれたり、名木は地域や人々のシンボルや語りにもなりました。

みやこ町にはそんな樹木がたくさんあり、樹木一つ一つにその木ならではの特色やエピソードがあって、自然と人々が生きていくの象徴(かけがえのない遺産)として大切にされています。

「自然遺産(樹木)」編

みやこ町にどんなお宝があるのかを知ることからはじめよう。このマップでは、お宝「自然遺産(樹木)」について知ることができるぞ！

樹木って自然と人の物語が詰まった「お宝」なんだね！

このマップでいう「お宝」って何のこと？

難しいことばで「文化財」といいます。昔の人が残してくれたもので、次の時代に伝えてゆくべきものとして地域やみんなに大切にされてきたものです。

木井神社のイチイガシ

みやこ町 木井馬場 木井神社境内

- 所在地: みやこ町木井馬場 木井神社境内
- 種類(樹種): ブナ科ナラ属 常緑高木
- 高さ(樹高): 32.1m
- 大きさ: 【胸高周囲】: 4.75m 【枝 張】: 東西約 25m 南北約 17m
- 年齢(樹齢): 450年(推定)
- ポイント: 県下屈指のイチイガシ [福岡県指定天然記念物]

エピソード

イチイガシは西日本の里山や鎮守の森の代表樹の一つで、その名は「神聖な木(斎程=いちかし)」に由来するともいわれます。木井神社でも一番のご神木で、その大きさは県下屈指のもです。幹には縄文土器を思わせる不思議な渦巻き模様が浮き出しています。

◀ 樹の幹は歪曲的な存在です ▶

木井馬場のムクノキ

みやこ町 木井馬場 貴船神社境内

- 所在地: みやこ町木井馬場 貴船神社境内
- 種類(樹種): アサ科ムクノキ属 落葉高木
- 高さ(樹高): 25.7m
- 大きさ: 【胸高周囲】: 4.75m 【枝 張】: 東西約 27m 南北約 23m
- 年齢(樹齢): 300年(推定)
- ポイント: 県下最大級のムクノキ [福岡県指定天然記念物]

エピソード

ムクノキの名前は「葉がざらつため木工(むく・もく)に利用された」ためともいわれます。秋に黒紫色の甘い実がなり、かつては子どもたちが、かざらを頼りに木に登り、実を食べる姿が見られました。この木は根元にある小さな祠・貴船さまのご神木です。

▲ 根元周りは小さな鎮守の森 ▶

◀ 天に向かおうと伸びる幹はなかなか全体が見通せません ▶

◀ 付近の民家を見下ろしながら大きくそびえるムクノキ ▶

千女房のヤマザクラ

みやこ町 勝山宮原 陣子ヶ岳付近山麓の斜面

- 所在地: みやこ町勝山宮原 陣子ヶ岳付近山麓の斜面
- 種類(樹種): バラ科サクラ属 落葉高木
- 高さ(樹高): 19.0m
- 大きさ: 【胸高周囲】: 5.07m 【枝 張】: 東西約 24m 南北約 26m
- 年齢(樹齢): 300年(推定)
- ポイント: 県下最大・最古のヤマザクラ [福岡県指定天然記念物]

エピソード

ヤマザクラは桜の野生種の代表的なもので東北以南にみられます。葉と花が同時に開くのが特徴で、ソメイヨシノ誕生以前は花見の主役でした。千女房の名はかつてこの地にあつたらしい山寺の僧房跡に由来する地名のよう、桜の地の奥深い歴史を物語ります。

▶ ヤマザクラは3月下旬から4月上旬に淡い薄紅の花を咲かせます ▶

◀ 幹は大きく3つに分れます ▶

大山祇神社の大イチョウ

みやこ町 扇谷 大山祇神社境内

- 所在地: みやこ町扇谷 大山祇神社境内
- 種類(樹種): イチョウ科イチョウ属 落葉高木
- 高さ(樹高): 20.0m
- 大きさ: 【胸高周囲】: 6.40m 【枝 張】: 東西約 15m 南北約 15m
- 年齢(樹齢): 500年(推定)
- ポイント: 町内最古のイチョウ [みやこ町指定天然記念物]

エピソード

このイチョウの立つ大山祇神社は、その昔朝鮮半島へ遠征を企てた神功皇后が、船造りのために一帯の木を伐ることを山の神に許してもらったために建てたとされ、イチョウはその時以来のご神木と伝わります。ごつごつしたぶが各所に見られるのが特徴です。

▶ 正徳の御願で建てられたイチョウ ▶

◀ 神社の屋根から天を突くように伸びるイチョウの枝 ▶

天幡神社の大樟

みやこ町 下原 天八幡神社境内

- 所在地: みやこ町下原 天八幡神社境内
- 種類(樹種): クスノキ科ツゲイ属 常緑高木
- 高さ(樹高): 20.0m
- 大きさ: 【胸高周囲】: 8.0m 【枝 張】: 東西約 20m 南北約 15m
- 年齢(樹齢): 300年以上(推定)
- ポイント: 珍しい株立ちのクス [みやこ町指定天然記念物]

エピソード

下原地区の鎮守・天八幡神社で、神社創建以来のご神木とされるのがこのクスです。「株立ち」と呼ばれる、株からタコが逆立ちしたように細い幹がいくつも伸びた姿が特徴です。根元もタコのようにたくましい根が張り、石塔?らしい石を巻き込んでいます。

▶ 神社をのびのびと育つクス ▶

◀ 幹から多くの枝が伸びています ▶

生立八幡宮の大楠

みやこ町 川生立 生立八幡宮境内

- 所在地: みやこ町川生立 生立八幡宮境内
- 種類(樹種): クスノキ科ツゲイ属 常緑高木
- 高さ(樹高): 30.7m
- 大きさ: 【胸高周囲】: 6.09m 【枝 張】: 東西約 25m 南北約 28m
- 年齢(樹齢): 800年(推定)
- ポイント: 伝説に彩られたクスノキ [みやこ町指定天然記念物]

エピソード

この楠には「神社の御祭神・神功皇后が、海外遠征の帰路この神社を造り、その際神社のご神木としたこの楠に、遠征時に乗船を守ってくれた「鱧」を根元に放して守り神とした」という伝説があります。鱧は今も楠に住み、歯痛を治してくれると評判です。

▶ 神社の御祭神を守るように枝を大きく広げるクスノキ ▶

◀ 一本立とよばれる珍しい立ち姿 ▶